

SAT だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

No.47

発行 (財)東京都スキー連盟
〒102-0083 千代田区麹町4.5
第6麹町ビル551号
TEL.(3262)2491(代)
発行日 H12.12.20 発行
編集 SAT編集委員会
印刷 水戸屋紙工株式会社



会 長 谷 雅 雄

本連盟は、昭和12年(1937年)5月に創立、昭和48年(1973年)11月に財団法人東京都スキー連盟となり、64年目を経過しています。

平成12年(2000年)7月23日、評議員による選挙により会長候補として理事会に推薦され、10月28日理事会の互選により会長として選出されました。この手続きによる会長選出は、財団法人東京都スキー連盟となってからは初めてのケースです。

これにより、盛田昭夫会長退任以来、永きに渡る会長不在時代もやっと終焉を迎え、執行体制が整ったことは、各加盟団体から選出された評議員各位及び関係各位のご協力と、スキーと本連盟の将来に対する情熱がこの結果を生んだものと敬意を表するものです。

経済環境によるスキー界を取り巻く状況の厳しさ、志向及び思考の多様化によるスノースポーツの変化、会員意識の変化など。

本連盟においては、会員数の横ばい、財政の逼迫などの諸問題を抱え、「これからのスキー連盟」は、ということが大きな宿命となっております。

我々執行部に課せられたものとして、本連盟の将来に対する展望を見出して行くことが、次世代に対する責任と捉え執行して行くこと。

今までに欠けていたと思われるものをこの機会に整備し、組織としての運営を機能させるべく執行努力することが使命と考えております。

新執行部は、会長、副会長、専務理事以下、理事総数23名で、年代は30代半ばから60代後半までの幅広い四世代で構成され、幅広い思考を取り入れることができると思います。

執行体制は、三本部制でセクショナリズムに陥ること無く、各本部が有機的に連携して各事業・行事を執行し、更に、新しい試みなどを取り入れ柔軟な思考の下に執行して行く所存です。

皆様方の更なるご支援とご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今シーズンの皆様のご活躍と安全を祈念いたします。

平成13年度に向けて



専務理事 副 島 茂

平成12年度は財政の逼迫により、事業計画において各本部、各部の行事予算の削減、事務局のスリム化などを実施し、事業優先で執行してまいりました。

この厳しい予算、執行状況の中、加盟団体はもとより各本部、各部専門委員皆様方のご協力により無事に終了できたことを、感謝しております。

平成13年度は執行部の改選期でありました。7月23日の評議員会による選挙により会長候補として谷雅雄氏が理事会に推薦され、10月28日の理事会において互選により会長として選出されました。

会長空席のまま執行されてきた緊急避難的状態から都連全体の将来を見据えた組織改革に取り組むことが課題となっております。

長年にわたり、3本部、2部制をしいてまいりましたが、時代の変動、スキー界の変革に伴い、よりシンプルな組織化が図れますよう、より良い組織形態、運営形態を検討し、平成13年度より3本部制（総務本部、競技本部、教育本部）に移行することを理事会決定し、評議員会により審議され決定されました。

それにより、今まで独立しておりましたフリースタイル部は競技本部に統轄され事業継続されます。安全対策部は全日本スキー連盟関係は教育本部にて資格取得、資格維持が行われ、東京都スキー連盟加盟団体、会員の安全対策の啓蒙部分につきましては総務本部に統括されます。

3本部それぞれに安全対策担当理事を配置し、安全対策委員会を設け連盟、会員の安全対策に役立てられるように努力をしていきたいと考えております。

新執行体制は慣習にとらわれることなく、事務局を中心に3本部が事業・行事を円滑に執行できる体制にし、積極的により良い連盟の体制作りに取り組んで行く所存です。

“クラブ対抗（競技種目＋基礎種目）競技会”について

既に、評議員会、事務担当者会議にて説明をしております連盟全体の新行事として“クラブ対抗（従来の競技＋新基礎種目）競技会”を行います。会員の皆様方と執行部がスキー場で一堂に会する行事として、よりよい交流、親睦の場としていきたいと計画いたしました。菅平高原観光協会、地元の協力により当日はシーハイルゲレンデ（旧名裏太郎）を全面貸切りで競技種目、基礎種目が行われます。

加盟団体の相互の理解、会員の活性化に役立ててもらえると期待しております。

競技本部、教育本部で協力のもと、より専門性を高める為に教育本部の養成講習会、準指導員検定会、研修会等に、競技本部の全日本A級大会のセッターとして活躍している競技本部専門委員にポールセットを依頼し、今現在の用具にマッチしたポールテクニックを目と肌で感じられるように取り入れました。

今後もより多くこのような混合による事業を計画していきたいと考えております。

教育本部で行われております、プライズ検定会が全日本の規約改定により都連の加盟団体に委託が可能となりましたので、実行いたしました。積極的に検定に挑戦をしていただきたいと思っております。（団体名は中根教育本部長より報告されております）

今後とも会員のサービス向上をはかり、広報活動にも積極的に取り組み加盟団体会員により早い情報提供をするなど努力していきたいと考えております。

21世紀に向け加盟団体、会員の皆様と共にますますの発展に努力をしていきたいと思っております。皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員皆様の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

総務本部の活動方針



総務本部長 杉 崎 寿三男

新生東京都スキー連盟は谷会長のもとに今秋よりスタートを切りました。永きに亘っての会長不在の連盟にとってはたいへん意義ある新年度を迎えたことになりました。

私は前期に続き総務本部長を任命されました。新生の船出に少しでもお役に立てればと思い要請に答えた訳ですが、たいへんな重責と感じております。

都連の組織も変り、今期より今迄の5部から3本部制に統合され総務本部のメンバーも9人となり大巾に増員されました。このことから今期からの都連運営に於ける総務本部の役割りはかなり大きく期待されております。

従来より総務本部は、都連運営にかかわる中枢的な役割を果す部と言われております。運営規則により総務本部の業務分掌を列記すれば下記のごとくであります。

1. 理事会、評議会及び代表委員会に関すること
2. 会計に関すること
3. 財産及び物品の管理に関すること
4. 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること
5. 伝達及び広報に関すること
6. 渉外業務の総括に関すること
7. 事務局規程に基づく事務局の管理に関すること
8. 団体の加盟並びに財団法人全日本スキー連盟の登録に関すること
9. 加盟団体及び都民へのスキー傷害防止対策の普及に関すること
10. 前各号に掲げるもののほか、他の部の所掌に属さないもの

たいへん広範囲の仕事を専務理事応援を得て事務局と専門委員の皆様と共に日夜懸命にこなしております。

次に今期の活動方針として、従来より多くの皆様から要望のあった「会員との融合の場」を持つことを考えております。即ち皆様と共にスキーの楽しみを語り合える場を設定することになります。

そのひとつとして、クラブ対抗であり、新しいイベントの企画にあると考えております。今後は冒頭に申しました新生に相応しいことが実現出来ますよう頑張りますので、皆様方の尚一層のご指導ご協力を申しあげます。

終りに会員皆様方のご健康と今シーズンの大いなる成果を心よりお祈り申し上げます。

21世紀の教育本部行事について



教育本部長 中 根 晴 一

「21世紀」やたらオーバーな表現ですが2000年度の延長です。しかし、時代は確実に変化している事は皆さんが一番感じ取っている事とおもいます。

アメリカでは大統領選挙で大騒ぎ、日本でも首相の座で騒いでいる昨今皆様方の(財)東京都スキー連盟でも時代が変わりつつあります。

教育本部関係でも指導員研修会のあり方について等、各研修会参加者のニーズに合った研修会が出来ないものか検討を致しております。

例えば、北海道地域での研修会や海外研修会も事情が許せば実施して行く方向で考えて行きたいとおもいますし、その他特色を持った研修会のご意見ご要望等をお聞かせください。

又、資格維持やクラブ行事の講師になる為に参加をする等の声を聞きます。やはり、参加するだけの研修会ではなく「スキー指導者としての自己啓発」の場として活用していけるよう努力いたしております。

現実として、すぐの実施は難しいと思いますが皆様方のご希望に出来るだけ応えられるよう努めてまいります。

当面2001年4月に熊の湯スキー場で開催をする研修会については、競技本部の協力を仰ぎポールを取り入れた研修を検討しています。

また、2001年3月3日クラブ対抗競技会基礎部門が今年度からはじまります。

担当専門委員よりのお知らせ通り、フォーメーション競技・ペア演技は事務連絡担当者会議で説明を致しましたが、その他のイベントも検討しておりますので、皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますようお願いいたします。

もう一点変わってきた事がプライズ検定です。従来都連(県連)がスキー学校にしか委託出来なかったものが、SAJ規約改定により都連の加盟団体にも委託可能となりました。

今年度は初めての為試行的に委託する事としました。都連全体の地域から次の6団体、クラブにテクニカルプライズを委託いたしました。

(1)指導員会(文京区スキー連盟) (2)城西地区(杉並区スキー連盟) (3)世田谷区スキー協会 (4)東京都下地域(武蔵村山スキー協会) (5)エココムロード (6)ヨシマルスキークラブ

上記6団体への受験は、SAJ規程の受験資格をお持ちの方はどなたでも受験が出来ますので各団体へお申し込み下さい。

(検定日等は別途お知らせいたします。)

また、教育本部行事(レベルアップ講習会)中でも二回のクラウン・テクニカルプライズ検定を実施いたします。

2001年シーズンに向けて



競技本部長 尾山 正人

11月より新体制の競技本部がスタートしました。

競技部専門委員で長く運営を行ってきた園田理事が副本部長となり、行事、大会運営と手腕を振うと思います。公認大会ポイントレース等の実績のあるクラブより長内理事が競技本部理事になりましたのでアルペン担当理事とし、主催クラブの考え等を取り入れてより良い公認大会になって行くよう相談していくつもりです。三本部制になりフリースタイル専門員であった宮崎理事はフリースタイル担当理事としました。SAJの専門委員を兼任しながらですが今後のフリースタイルの方向を決めて行きたいと思います。安全対策専門委員より高嶋理事が競技本部に入り、ノルディック担当理事としました。高嶋理事には、競技会における安全確保等用具チェックも含め広く活動してもらおうつもりです。以上が競技本部の新体制ですが、新人の理事4名はそれぞれの分野で活躍していた経験者ですので一期二年の任期中には新しい考え方で競技本部を運営して行くと思います。私の経験を伝えて行くには新人の理事4名は大変頼もしく思っております。選手の皆様には良いシーズンであることを祈っております。

*** **

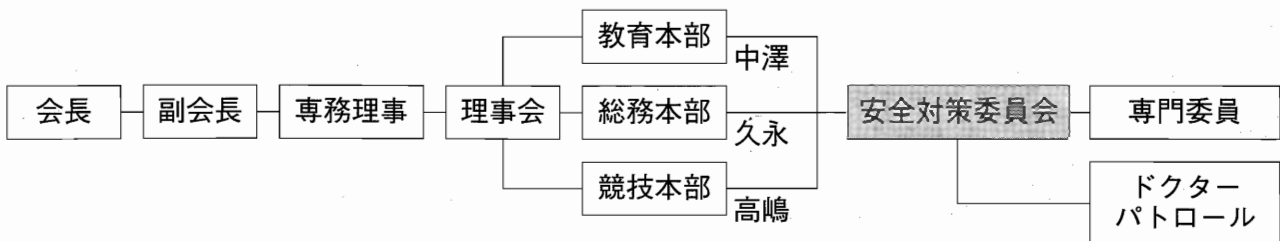
新設、安全対策委員会について

教育本部長 安全対策委員会委員長

中澤 義昭



ようやく10月28日、新役員と新執行体制が決まりスタート致しました。一本部制の考えて三本部制になった、安全対策委員会は下記の図の様な新組織体制になり、それぞれの本部に理事が配属して、その本部の業務と安全対策の行事を担当することになりました。



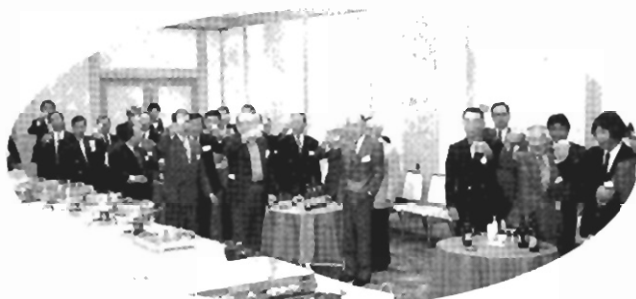
都連の安全対策の考え方とその方針は次の通りです。

- ①加盟団体の傷害対策担当者講習会を通じて、傷害報告と安全管理、危機管理の勉強をして生かす。
- ②都連の安全予防と啓蒙、安全対策と管理体制を作る。
- ③行事会場の医療体制を調査し、現地パトロール隊と密接な連絡をとり救急体制を整備する。

などを行い、事故が起きた時の対応、処置、搬送、医療機関までの適切な対策をとって参りたいと思います。又ドクターパトロールからも助言を戴き、内容を考え、都連の会員の為に尽力して行きたいと思います。

平成13年度 名誉役員懇親会

平成12年11月21日(火) 四谷駅前スクワール麹町に於いて名誉役員懇親会が開催されました。44名の名誉役員の方々が出席されました。杉崎総務本部長の司会で新理事の紹介に始まり谷会長の挨拶、副島専務理事の平成11、12年度経過報告、13年度事業計画の説明があり、顧問の内藤侃さんの手短な挨拶、鈴木徳三さんのむかしの話、塙辰夫さんの挨拶、松沢栄一さんの乾杯で数年ぶりのこの会は大変盛り上がりしました。宴たけなわの中渡辺副会長のなかじめで20時30分会が終了しました。



(財)東京都スキ一連盟 新役員

役 職	氏 名
会 長	谷 雅 雄
副会長	渡 辺 茂
専務理事	副 島 茂
総務本部長	杉 崎 寿三男
総務副本部長	柴 田 博
総務副本部長	阿 部 勲
総務本部理事	久 永 正 利
総務本部理事	塚 本 哲 夫
総務本部理事	川 渕 誠
総務本部理事	花 田 知 之
総務本部理事	明 石 真 幸
総務本部理事	成 木 正 浩

教育本部長	中 根 晴 一
教育副本部長	増 田 千 春
教育本部理事	本 間 尚
教育本部理事	中 澤 義 昭
教育本部理事	長谷川 春 彦
教育本部理事	八 卷 秀 樹
競技本部長	尾 山 正 人
競技副本部長	園 田 康 博
競技本部理事	長 内 宏 司
競技本部理事	高 嶋 忠 之
競技本部理事	宮 崎 健 夫
監 事	山 崎 昌 矩
監 事	大 戸 保 男
監 事	眞 鍋 勝 美

表 彰

加盟満20年経過の団体

No.	団体番号	団 体 名	加盟団体承認年月日
1.	No.421	チームヤーカン	昭和 55 年 9 月 7 日
2.	No.423	チャレンジャースキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日
3.	No.424	アスピンスキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日
4.	No.425	ラスカルスキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日
5.	No.426	スノーキャップスキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日
6.	No.427	アドベンチャーファミリースキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日
7.	No.429	日本レーシングスキークラブ	昭和 55 年 9 月 7 日

感謝状贈呈者

- 浦辻 直 都連顧問
- 安川 裕 都連競技本部専門委員



What's New
in 車山高原 2001

SNOWBOARD
自由に滑走、スノーボード全コース滑走可能

TRAINING BAHN
ノンストップレーニングバーンが無料開放

ENJOY FAMILY
ファミリーに優しく、おトクなサービスがいっぱい

ALL-NIGHT&FIREWORKS
車山名物オールナイト&花火大会

MOUNTAINTOP VIEW
どなたも気軽に山頂へ、360°の大パノラマ



信州ビーナスライン
車山高原
SKY PARK

●お問い合わせは
信州総合開発観光株式会社
長野県茅野市車山高原
TEL 0266(68)2626
テレフォンサービス
TEL 0266(68)2500

●ホームページアドレス
<http://www.kurumayama.co.jp>

クラブ対抗が進化する!!!

SAT会員の皆様に、新しい行事についてお知らせをします。

例年、長野県菅平高原スキー場で開催しております、『東京新聞・東京中日スポーツ杯・SATクラブ対抗競技会』に今年度より新たに“基礎部門”を設けることになりました。したがって、“競技部門”と“基礎部門”をジョイントさせ、グレードアップした『クラブ対抗競技会』となります。

これにより、競技志向、基礎志向それぞれのスキーヤーが集い、スキーを満喫していただく、“都民のスキー・フェスティバル”に発展させたいと思っております。

新設の“基礎部門”の内容は、団体(3~6名)及びペアによるフォーメーション演技をポイントで争う競技です。

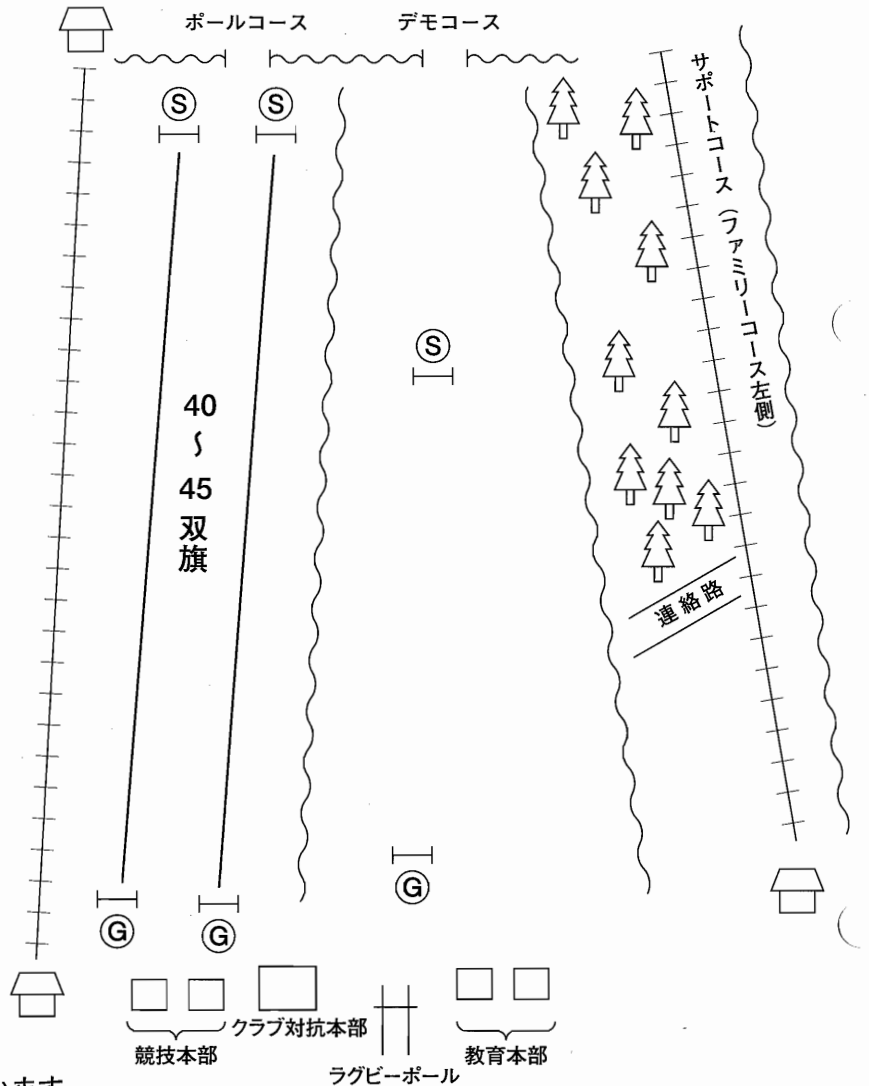
競技部門は例年の通りですが、クラブ対抗戦としては、競技部門と基礎部門がそれぞれの獲得ポイントをクラブ対抗で競う、新しいスタイルになります。


また、競技とは別に、性別・年齢・技術を問わず参加していただける楽しいアトラクションも企画しています。

歴史と伝統がある競技部門と新設の基礎部門、21世紀という時代の幕開けにふさわしい、新しい『クラブ対抗競技会』の成功に向けて、各加盟団体の皆様のご賛同とご協力をよろしくお願いたします。

※ノルデックはウエストコースを予定しています。

クラブ対抗競技会概念図(シーハイルコース)






白いファンタジックワールド

菅平高原

NIPPON DAVOS
SUGADAIRA KOGEN



ヨーロッパの風を感じさせる12の個性派ピステ。菅平高原は東京都スキー連盟の皆様のごホームゲレンデとして長く親しまれています。いま21世紀にむけて、新しいスキードラマがカウントダウンを始まりました。いまよりもっと深く、大きく。新しい時代の新しいパートナーシップも始まります。

東田町・菅平高原はスポーツボランティア宣言!

TEL.0268-74-2003

加盟団体の承認・名称変更・脱退

■新加盟団体

団体番号	新加盟団体名	会員数	代表者名	保証団体名	仮承認年月
No.653	ニューアドベンチャースポーツアソシエーション	37名	櫻井 優司	No.236 S. A. A.	1999年9月
No.654	クラブ ヘリー・ハンセン	36名	本間永一郎	No.614 ゴールドウインスキークラブ	1999年12月
No.655	足立区役所スキー部	33名	松澤 憲一	No.400 特別区職員文化体育会スキー部	1999年12月
No.656	グレンツェンスキークラブ	31名	金光 淳一	No.546 スキークラブツヴァイテ	2000年8月
No.657	ウィンテック・スキークラブ	30名	山崎 真	No.629 ホワイトブルースキークラブ	2000年8月
No.658	ファンズスキークラブ	37名	中北 正治	No.642 ファインスキークラブ	2000年8月
No.659	東京カーブアートスキークラブ (TCA)	30名	神 武浩	No.341 シーファーラ・グルッペ	2000年8月
No.660	ラスベガススキーチーム	30名	南 恒伊	No.524 ICIスキークラブ	2000年9月

■加盟団体名称変更

団体番号	新名称	旧名称	名称変更理由	仮承認年月
No.533	シアーレススキークラブ	AVびあスキークラブ	本来の意味に取られることが無く会員より強い希望があったため	1999年10月
No.327	日本ユニシススキークラブ	ル・ヴェルグラススキークラブ	会員が日本ユニシス社員のみとなったため	1999年12月
No.618	ヴィクトリアファーストスキークラブ	ヴィクトリアスキークラブ	規模拡大のため	1999年12月
No.461	京王電鉄スキークラブ	京王帝都電鉄スキークラブ	社名変更のため	2000年5月

■脱退団体

団体番号	加盟団体名	脱退理由	仮承認年月
No.153	東京3Lクラブ (昭和40年10月24日加盟)	会員の高齢化と会員数の減少のため	1999年10月
No.358	日興電機スキークラブ (昭和50年9月7日加盟)	会員減少のため	1999年10月
No.149	東京ダイナミックスキークラブ (昭和40年9月26日加盟)	会員数激減のため	1999年12月
No.632	日本ヒューレットパッカードスキークラブ (平成10年7月26日加盟)	会社の分社化に伴う、体育会系専門部廃止のため。	2000年5月
No.283	三和銀行東京スキー部 (昭和47年9月10日加盟)	会社からの補助金打ち切り、及び会員減少の一途をたどっているため	2000年5月
No.586	日本ウェルネススポーツ学院スキークラブ (平成6年9月4日加盟)	スキークラブ運営が困難なため	2000年5月
No.604	三英電業株式会社スキー同好会 (平成7年8月26日加盟)	社内の機構改革に伴う、スキー同好会の廃止による	2000年5月
No.484	セントラルスポーツスキークラブ (昭和60年10月23日加盟)	登録費用の値上げ理由が理解できないため。会員登録手続きが煩雑かつ手間が掛かりすぎるため。	2000年5月
No.219	サンライズスキークラブ (昭和43年8月19日加盟)	会員減少のため	2000年6月
No.343	ダルマーズスキークラブ (昭和50年9月7日加盟)	会員減少のため	2000年7月
No.135	ブトウエチ・スキークラブ	会員減少のため	2000年9月
No.631	プラッツスキークラブ	部員数減少のため	2000年9月

平成13年度 功勞指導員

氏名	クラブNo.	所属団体名	年令
石塚 房夫	4	東京スキー研究会	63
加藤 博	4	東京スキー研究会	74
桃井 芳徳	4	東京スキー研究会	60
森 茂樹	4	東京スキー研究会	61
吉田 修次郎	4	東京スキー研究会	65
海野 好彦	9	東京スポーツマンクラブ	61
新井 義直	17	世田谷区スキー協会	74
小林 八枝	19	熊笹スキークラブ	75
塩原 久智	24	東京カモシカスキークラブ	64
國又 久史	27	レデアンス・スキー・クラブ	68
長谷川 和夫	27	レデアンス・スキー・クラブ	67
扇田 信男	36	志賀高原スキークラブ	61
柴田 富美子	50	東京ハイランドクラブ	70
宮崎 元伸	50	東京ハイランドクラブ	60
菊地 武子	106	トルベ・コムラード	66
深沢 睦子	106	トルベ・コムラード	62
平田 春雄	210	ギッペルススキークラブ	64
鈴木 久美子	333	デモネージュスキークラブ	68
二宮 浩司	339	アーバンスキークラブ	65
高橋 幸男	400	特別区職員文化体育会スキー部	60
田代 満	400	特別区職員文化体育会スキー部	70

平成13年度 功勞準指導員

氏名	クラブNo.	所属団体名	年令
中島 二三子	4	東京スキー研究会	69
吉田 享	4	東京スキー研究会	67
上野 五郎	9	東京スポーツマンクラブ	72
和田 和寿	17	世田谷区スキー協会	65
池場 望	23	板橋区スキー協会	67
高橋 甫	23	板橋区スキー協会	69
三浦 克典	23	板橋区スキー協会	63
安川 誠太郎	50	東京ハイランドクラブ	61
白石 広重	50	東京ハイランドクラブ	60
安藤 守	140	フレッシュ・スキークラブ	69
柳沢 彰夫	142	ブランシェリースキークローブ	63
高尾 豊史	273	カオススキークラブ	67
藤島 文夫	279	児童スキー研究会	67
古舘 敬一	351	中野スキークラブ	65
眞弓 隆	370	スキー同人イーグル	74
大井 郁男	505	エイティエイトスキークラブ	71

平成13年度 名誉検定員

氏名	クラブNo.	所属団体名	年令
大明 美代子	636	スノーレディーズスキークラブ	70

平成13年度 功勞パトロール

氏名	クラブNo.	所属団体名	年令
寺西 馨	70	渋谷区スキー連盟	59

★ 都連のデモ達 !!

今シーズンの活躍に気体? 奇態……期待!!



五藤 博文

スキー技術選

★都予選 車山高原

2001年2月1日(木)～4(日)

参加者 655名

★本選 八方尾根

2001年3月7日(水)～11日(日)



片山 秀斗



伊藤 政照



佐伯 幸



吉田 美輝子

★ 競技本部国体 team の 躍進や如何に!?

先シーズン富山国体で大きく Jump up した東京都 team。

今シーズンは、長野県飯山市での開催。こっそり応援に行ってみては……?

日程 2月18日～21日

場所 長野県飯山市

P.S. デモ FUN の皆さん、ヒサヤも出場する……かも?

加盟団体紹介

「スキーバカ」の集まりです

374・ステュービッドスキークラブ 本田 雅彦

私たちのクラブは昭和48年7月に発足し今年で創立27年を迎えます。クラブ名の由来は、いつもスキーの事ばかり考えている『愚かな、まぬけな、ぼんやりした、ばかな』仲間という意味から命名致しました。学生の同好会として活動していたため、ファイブリングズスキークラブの故服部俊雄先生に御尽力を頂き昭和51年に都連に加盟させて頂きましたが、都連での活動はあまり活発ではありませんでした。しかし現在では学生生活が終わってもスキーを続けたい者を中心に、発足当時のメンバーも40才代となりもう1度スキーを始める者や、子供もクラブ員にし親子2代のスキーバカも誕生しています。学生時代からの流れで競技スキーが中心になっており、'98年には国体出場の選手が、また現在2年連続で全中出場のジュニア選手もおります。

合宿はポール練習を中心に行っておりますが、最近では、基礎スキーにも興味をもつクラブ員も多くなり、正指導員2名、準指導員8名、公パト3名と有資格者も増えつつあります。スキーを楽しみスキー仲間を大切にすスキーバカな我々を今後共宜しくお願い致します。

SAT技術レベルアップ講習会のご案内

教育本部

昨年度好評を得ましたレベルアップ講習会を更に充実した型で本年度も実施いたします。この行事は東京都スキー連盟教育本部技術強化委員会が中心となりSAT会員の皆様の技術向上を目的として実施するものであります。

この行事を通じて、広くSAT会員の皆様に教育本部専門委員メンバーの持つ高い技術ノウハウ・質の高い最新の情報を提供させていただき、ワンランク上の技術のレベルアップを目指したいと考えております。

また、参加していただいた会員の皆様にとって、十分な満足度が得られる講習会にしたいと考えておりますので、ふるって参加してくださいませ様ご案内申し上げます。



第1回

日 時：2001年1月19日(金)～1月21日(日)
会 場：車山高原スキー場
申し込み：2000年11月1日(水)～11月20日(木)



第2回

日 時：2001年2月16日(金)～18日(日)
会 場：車山高原スキー場
申し込み：2001年1月9日(火)～1月27日(土)
※詳細についてはアルマナックをご覧ください。

編集者

委員長 塚本 哲夫

編集長 土屋 東明

編集委員 三瓶 一男 蒔野 秀治 海老沢 晃 矢島 かおり

井上 恵美 藤野 克彦 伊藤 裕子 渡辺 里美

